

# 社会を明るくする運動

中学生の部優秀作文

## 「あたりまえ」の中に



「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ」歌人、俵万智さんの歌です。「寒いね」の言葉に目がいきそうになりますが、実はそうではありません。日常的な短い会話の中にあるあたたかみを歌にしてあり、なんだか手に入りにくい幸福のようにさえ感じます。しかし、このぬくもりは誰しもが感じる事ができて、誰しもが気付くことなく通り過ぎていくぬくもりなのでしょう。だから、そのことをハッと気付かせるこの歌は、意外と強く人々の心の中に残るのです。そしてこの僕も、この歌によって通り過ぎていたぬくもりに気付かされた一人なのです。

最近、僕はよくこんな言葉を耳にします。「兄弟なんていなくてもいい」「朝御飯なんて食べる必要がない」。こういった言葉が、僕には不思議に聞こえて仕方がありません。これらの言葉は全て、兄弟がいること、朝御飯が食べられることなどの「あたりまえ」を前提とした言葉であり、「あたりまえ」に対する感謝の気持ちが足りないと思っています。



泗水中学校 3年 柏原功志郎さん

人生に二つ目はありません。兄弟のいる人生、兄弟のいない人生、と二つの人生を送って来た人はいないはず。でも、「いても、いなくても変わらない」という言葉は、ふざけて言った冗談かもしれませんが、それにしても、やはり「あたりまえ」に対する意識の低さがうかがえると思います。

社会は発達し、裕福になりました。その結果、たかさんの「あたりまえ」ができました。しかし、人々はいつの間にか、「あたりまえ」の中にある、ぬくもりや幸せを忘れてしまいました。このことは、せっかくの満ち足りた生活の質を落としてしまうものだと、僕は考えます。より質を高くするためにも、小さな意識、幸福から生まれた「あたりまえ」を、「当たり前」イコール「幸せ」、と結びつける意識を持つことが大切です。

「僕自身、「あたりまえ」に囲まれた生活を送る一人であって、この意識を完全に実行できてはいませんが、社会の質の向上を目標に、まず、自分から始めていきたいのです。みなさんも、まず「あたりまえ」の中に幸せを探してみるのはいかがでしょうか。「あたりまえ」の中にかくれている優しさに気付くことで、僕やみなさんの毎日が、少しずつ変わっていくかもしれません。そして、それらの「あたりまえ」を新たな幸せとして位置付けて考えることができれば、私たちの日々は大きく変わっていくことでしょう。



1. 栄冠を手にした菊池市女性消防隊 2. 全国大会出場への推薦を受ける選手 3. 出場前に肩を組んで気合いを入れる選手 4. 声高らかに選手宣誓する山口隊長 5. 選手たちは本番に臨むことなく訓練の成果を発揮した 6. 緊張した面持ちで順番を待つ選手 7. 総指揮者を務めた岩木団長 8. 歓迎のあいさつを述べる江頭市長 9. 競技後は選手全員が笑顔を見せていた

## 菊池市女性消防隊 第3回熊本県女性消防操法大会

# 優勝

**第3回熊本県女性消防操法大会**は8月4日、菊池市総合体育館駐車場で開催され、菊池市女性消防隊が初優勝を飾った。大会には女性消防隊員ほか関係者など約1千人が参加。総指揮者は菊池市消防団の岩木憲文団長が務め、全体を指揮。開会式では大会会長あいさつと来賓祝辞に引き続き、江頭市長が開会地として歓迎のあいさつを述べた。

**選** 手宣誓では、菊池市女性消防隊の山口由香里隊長が「今、みんなが一つになるとき。頑張ろう日本、頑張ろう熊本、頑張ろう女性消防隊」と力強く宣誓。競技には県内の郡市支部の代表15チームが出場。時折雨脚が強まるなか、選手たちは日頃の訓練の成果を発揮し機敏な動作で操法を披露した。

**優** 勝した菊池市女性消防隊は、10月17日(木)に神奈川県横浜市消防訓練センターで開催される全国大会に熊本県代表として出場する。全国での活躍も期待される。

▼菊池市女性消防隊選手(敬称略)  
指揮者 土屋 望  
1番員 森永美香  
2番員 森藤優紀  
3番員 宮崎由希美  
4番員 谷田香代子  
補助員 原田綾子